



No. 103 2021.2.1

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課



コミスク TwitterQR

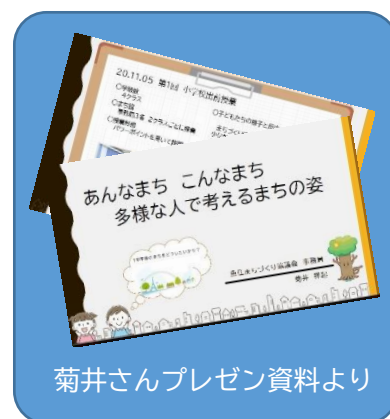
いよいよ来週です！Meet de 対話 Part4

国語教材“町の未来をえがこう”から始まる地域との連携
授業から始まる“いい学校づくり=いいまちづくり”

6年生の国語の教科書に「町の未来をえがこう」という単元があります。「自分たちの町の未来について考えを広げ、プレゼンテーションしよう」という学習です。教科書に示されている学習の見通しとして

- ①「町の幸福論」を読んで、自分たちの町について考える。
- ②町づくりについて調べて、提案を考える。
- ③構成と使う資料を考えて、プレゼンテーションをする。

といった流れが示されています。この教材は資料を活用し、自分の考えが伝わるように表現を工夫する力を育むことが国語科としてのねらいです。しかし、この教材には子どもたちが地域に目を向け、未来を創り地域を支えていく力を身につけていく場になる可能性が秘められており、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けての一步を踏み出すきっかけになる教材だと考えています。



菊井さんプレゼン資料より

そこで、Meet de 対話 Part4 ではまず話題提供として、魚住まちづくり協議会事務局員として活動されている菊井祥起さんから魚住小6年生での実践を「あんなまち こんなまち 多様な人で考えるまちの姿」という切り口から、松が丘小の松が丘プロジェクトの実践を平田教諭・村上教諭のお二人から“学年戦略としての「カリキュラム・マネジメントマップ」”という切り口から紹介していただき、その後、皆さんにも参加していただきながらこの教材の持つ、“子どもたちが地域に目を向け、未来を創り地域を支えていく力を身につけていく場”としての可能性を対話しながら探っていきたいと考えています。

○Meet de 対話 Part4 開催日時

2021（令和3年）2月9日（火）15時00分から16時30分

○実施方法

Meet によるオンラインによる実践発表と対話

○申込方法

お名前・所属・連絡先メールアドレスを記入の上、メール・FAXで学校教育課北本迄定員になるまで受付させていただきます。皆様のお申込みをお待ちしています。

※ a_kitamoto@city.akashi.lg.jp 又は FAX:078-918-5111

今だから 今だからこそ

最近通販サイトから紹介された本の中に刺激的な題名が目にとまりました。



“もう一度考えた「ゆとり教育」の意義”

混迷する社会を生き抜くために 子供たちに必要な“学力”とは？

「ゆとり教育」に取り組んだ元文部省の局長と、

「ゆとり」以降も教育政策をウォッチし続けてきた

読売新聞の元記者が問う！



“教育は変えられる”

教師、教育行政官、そして保護者も。 全関係者注目！

「これから教育が向かうべき ビジョンとロードマップ、

そのすべてがこの本には描かれている」

「みな同じ」の一斉教育から、「みな違う」を前提とした、子ども一人一人にカスタマイズされた、「みんなを伸ばす」教育へ。明治以来の教育システムを根本から変える、本当の意味での「これからの教育」。その基本的な考え方と、具体的な実現方法を、著者による東京都杉並区の取り組みを通じて提案する。

1996 年の中教審答申を取り上げさせていただいているこの時期に、そして“令和の日本型学校教育”の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現”（中教審答申）が出されたタイミングにはうってつけの本かなと勢いでポチってしまいました。またよければこの本を読まれた方からの感想やお考えもコメントだよりに寄せていただけたらと思っています。“教育は変えられる”は必読です。

広島県では

最近、SNS で入ってきた情報ですが広島県では面白い取組が始まっています。

広島県教育委員会の中に「個別最適な学び担当」が平成 31 年 4 月に新設され、一人一人の子供に寄り添った多様で質の高い学びの実現に向けて、特に義務教育段階における児童生徒の個別の状況に応じた主体的な学び（以下、「個別最適な学び」）に関する調査研究が進められ、“個別の状況に応じたカリキュラムの編成・実践に関する提案～Society5.0 を見据えた「学びの変革」のアップデート～”が今年の 3 月にまとめられたようです。

一見する価値ありです。一度のぞいてみてください。来年度の学校での研究の方向を考える上で参考になるのではと思っています。

個別最適な学び担当ホームページ

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku17/kobetu-teian.html>

個別の状況に応じたカリキュラムの編成・実践に関する提案

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/385499.pdf>

（文責：北本）